第 58 回近代五種全日本選手権大会

男子個人 2等陸曹

嶋野

光

2年ぶり2回目

優勝

5番スタートからの猛追、首位でレーザーランのゴールを決める嶋野2曹

10月31日から11月2日までの間、「第58回近代五種全日本選手権大会」が味の素スタジアム西競技場（東京都調布市）および東関東ホースプロジェクト（千葉県八街市）で行われ、体育学校から男子11名、女子3名が参戦した。男子個人の部は嶋野光2等陸曹が、女子個人の部では、島津玲奈3等陸曹がそれぞれ2年ぶり2回目の優勝を果たした。また、男子個人で三口智也3等陸尉が第3位に、女子個人では今年所属のルーキー高橋瑠佳海士長が第2位の成果を収め、オリンピック代表選考へ弾みをつける結果となった。

着実に順位を上げ
手にした **優勝**

嶋野は水泳、フェンシングを終えた時点で第5位、レーザーランは5番スタート。800mを4周走るランの2周回目終盤、着実に順位をあげてきた嶋野はトップに踊り出てそのままゴール。この時点で後ろに迫る第2位の小野選手（警視庁）との差は5ポイント。翌日の乗馬に勝負を預ける形となった。

SIDE STORY

その一瞬

足の痛みを耐え完走を目指す菅沼海士長（写真右）

今季一番の冷え込みとなった11月1日、最終種目の馬術競技では、2位の小野選手が300点満点中293点と高得点を挙げた直後、嶋野とルーク号（馬名）がスタート。当初からスピードを上げ軽快に次々と障害を超えた。嶋野は競技後半、障害を一つ落とし、小野選手と同点の293点で競技を終え、最後まで逃げ切り、優勝の栄冠に輝いた。

試合後嶋野は「フェンシングと射撃に自分の課題がある。ひとつひとつをしっかり修正していきたい。」と冷静に分析し、今後の抱負を語った。

痛みに耐えレース続行 菅沼

来年の世界選手権出場権を得るため、菅沼宏太海士長は、右脚の腓骨の疲労骨折を抱え痛みに耐えながらレースを続けていた。レーザーランの終盤、他の選手が菅沼を抜く瞬間、菅沼の顔を心配そうに覗き込んだ。『大丈夫？』それまで痛みにこらえながら顔を歪めていた菅沼が表情で答えた。『大丈夫だよ。諦めないから。』その笑顔に確かにアスリートの友情を見た一瞬だ。

PHOTO GALLERY

選手たちの活躍を自衛隊体育学校ホームページでご覧ください。
フォトギャラリーに写真を掲載しています。 http://www.mod.go.jp/gsd/phy_s/index.html

自衛隊体育学校

検索

第58回近代五種全日本選手権大会

女子は 3等陸曹

2年ぶり2回目

島津玲奈が優勝

295点の高得点をマークした島津3曹（馬術競技）

大波乱の女子個人

女子個人の部、島津はフェンシングで体の動きが精彩を欠き7位と出遅れ、水泳を3位で終え盛り返すも、レーザーランは5番スタート、この時点でトップの黒須選手（東海東京証券）と48秒差、2位の朝長選手（警視庁）とは34秒差となり厳しいスタートとなった。スタート直後からペースを上げ、ハイペースでレースを展開し、一気に2人を抜き3位に浮上。そのままゴールしレーザーラン終了時点で首位の朝長選手を65ポイント追いかける形となった。

怒涛の追い上げで3位に浮上する島津

1日置いて11月2日、落馬し失権する選手が続発する中、島津とニモ号（馬名）は12個の障害を高く華麗に飛び、300点満点中295点をマークし暫定1位。残る2人の結果を待つこととなった。

勝負の行方を観客が見守る中、上位2人が落馬失権し、島津の優勝が確定した。勝利後インタビューで島津は「今回の展開は実感がない。課題を多く感じる大会だった。今後しっかりと取り組んでいきたい。」と語った。勝負は最後までわからない。『引きの強さ』も勝負強さだということを証明した一戦となった。

藤井賞受賞

男子

陸士長 石川県出身
藤巻啓太郎
平成27年入隊
平成29年3月所属
競技歴2年

女子

海士長 宮城県出身
高橋瑠佳
平成29年入隊
平成30年3月所属
競技歴1年

『藤井賞』とは、故藤井瞬次氏（近代五種協会創設から長年にわたってご尽力された）の生前の意思を継承し、『当該年度において最も成長が著しかった若手新人選手に対して贈られる』もので、毎年開催される全日本選手権大会において近代五種協会会長から授与されるもの。

総合成績（入賞以上）

男子団体	第2位	自衛隊体育学校 B (嶋野2曹、山本3曹、斎藤3曹)			
	第3位	自衛隊体育学校 A (三口3尉、岩元3曹、佐藤3海曹)			
男子個人	順位	階級	氏名	総合得点	出身
	優勝	2等陸曹	嶋野 光	1479点	神奈川県
	第3位	3等陸尉	三口智也	1453点	和歌山県
	第5位	3等陸曹	大西渚生	1448点	宮崎県
女子個人	順位	階級	氏名	総合得点	出身
	優勝	3等陸曹	島津玲奈	1358点	熊本県
	第2位	海士長	高橋瑠佳	1339点	宮城県